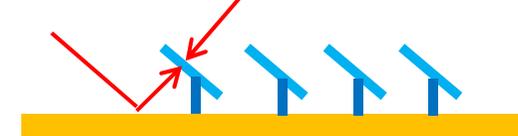


リノベーション・実証の概要

カネカが開発してきた高効率低コストヘテロ接合シリコン太陽電池技術をサウジアラビアのような高日射、高温の砂漠向けにリノベーションすると共に、実際にサウジアラビアで技術的優位性およびCO2排出抑制量を現地機関(KAUST)と連携の下、定量的に検証する。KAUSTの屋外暴露試験場に太陽光発電設備を設置し、気象データ、詳細な発電データを取得し、より高い発電量およびCO2排出抑制量を定量的に検証する。砂塵や様々な発電量低下要因を分析するために定期的なメンテナンスの効果もKAUSTの協力の下で評価する。

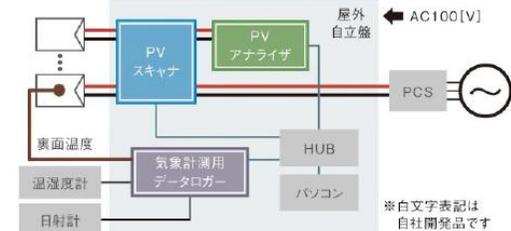
反射 +20%~ 入射 100%



砂漠地域両面発電



太陽電池計測



対象とする国・地域の概要



地図データ©2015 Google

サウジアラビア王国 King Abdullah University of Science and Technology キャンパス内 New Energy Oasis

対象とする国・地域における事業化・普及の見込み

事業化見込み

- STEP1: 砂漠地域に最適な両面受光ヘテロ接合型太陽光パネルの設計を決定する。
- STEP2: 両面受光ヘテロ接合型太陽電池パネルの多用途アプリケーションの開発を行う。
- STEP3: サウジアラビア等の砂漠地域向けに販売を開始する。

普及の見込み

2020年までに両面受光ヘテロ接合型太陽電池パネルの量産化を開始する。2025年度までに500MW以上の販売を行う。